
b アクセス ONE 使用説明書

はじめに

bアクセス(以下、「本ソフトウェア」といいます)はbモバイルによる通信をより快適にご利用いただくためのソフトウェアです。

おことわり

本ソフトウェアは、本製品の使用許諾契約のもとでのみ使用することができます。

お客様が本ソフトウェアを使用したことにより、被ったいかなる直接的、間接的または、偶発的損害も賠償いたしかねますので、ご了承ください。

使用されているパソコンのシステム構成他によっては正常に動作しなかったり、全く動作しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

本ソフトウェアの一部または全部を無断で複製、販売、譲渡、ネットワークにより提供することを禁止します。

本ソフトウェアの仕様及びマニュアルに記載されている事項は、将来予告無しに変更することがあります。

本ソフトウェアを改造、変更すること、及び本ソフトウェアの機能等に変更を加えることを目的としたプログラムを作成、使用、譲渡、貸出またはネットワークにより提供することを禁止します。本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることを禁止します。

画面のキャプチャーの一部は実際の画面と異なることがあります。

動作環境

オペレーティングシステム: Microsoft Windows XP

ブラウザ: Microsoft Internet Explorer

Internet Explorer を使用しない場合も、本ソフトウェアをインストールを行う前に、オペレーティングシステムの最新のサービスパックをインストールしておいてください。

Windows XP は、米国 Microsoft Corp.の登録商標です。その他、商品名および製品名などは各社の商標または登録商標です。

b アクセス ONE

使用説明書

Windows XP

本ソフトウェアは b-mobile ONE 専用です。

その他のデータカードでの動作保証はいたしかねますので、予めご了承ください。

bアクセスをご利用になる場合は、あらかじめパソコンにbモバイルデータカードのドライバをインストールし、パソコンがカードを認識している必要があります。

この b アクセスは Windows XP 専用です。そのほかの OS ではご利用いただけません。

また、このソフトウェアを利用するためには管理者権限が必要です。

0. b アクセスについて

bAccessONE は b-mobile ONE 専用のソフトウェアです。本ソフトウェアの利用には b-mobile ONE が必要です。本ソフトウェアを利用することで無線 LAN と PHS の接続を WindowsXP から簡単に行うことができます。

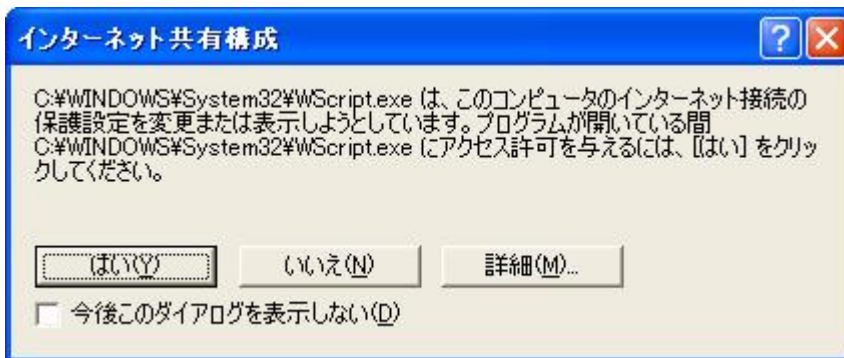
1. b アクセスの起動

1. デスクトップの b アクセスのショートカットをダブルクリックします。



b アクセスのアイコン

2. bAccessONE のソフトウェアを起動すると、b アクセスで利用するダイヤルアップ設定には Windows 標準のファイアウォールが適用されます。このとき下記のダイアログが表示されることがありますので、「はい」を選択してください。



正しく設定が完了すると、ネットワーク接続に作られた、BMAUTODL の設定に錠のマークが表示され、ファイアウォールの設定が適用されたことがわかります。



3. この後、bAccessONE のソフトウェアは Windows で認識されている b-mobile データカードを利用して、PHS 接続で認証サーバーに bAccessONE の登録を行います。正しく認証が行われた後、bAccessONE の機能がすべて利用可能になります。この場合 b-mobile データカードが認識されていない場合やカードが差し込まれていない場合にもエラーが生じます。(Windows の標準 PCMCIA カードモデムでカードが認識されている場合にも b アクセスで正しく認識されません。)



4. b アクセスが起動します。基本的なインターフェイスはシンプルな画面構成です。無線 LAN・PHS とともにワンクリックで接続できます。



設定ボタン

b アクセスの詳細設定を行うための設定ウィンドウを表示します。

コメント欄

それぞれの状態はここに文字列で表現されます。

インジケータおよび接続・切断ボタン

b アクセスの接続状態のインジケータと接続・切断ボタンを兼ねています。

2. b アクセスのインターフェイス(インジケータ)

1. b アクセスのインターフェイス



PHS・無線 LAN とともに利用可能な状態

この状態でインジケータをクリックすると、PHS・無線 LAN に接続可能です。

b アクセスは接続状態によってインジケータの表示が変化します。

たとえ無線 LAN が利用可能な場所であっても、十分な電波強度が得られない場所では、無線 LAN のインジケータは接続可能な状態になりません。この場合、場所などを移動して電波の強いところを探してください。




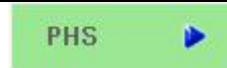




PHS に接続、通信中



無線 LAN に接続、通信中

2. インジケータの表示

インジケータは通信の接続および切断を b アクセスで行う為の機能を持っており、マウスなどのポインティングデバイスによって、操作することができるボタンとなっています。各インジケータの表示はステータスにより以下のように変化します。

	利用不可能な場合	利用可能な状態	接続・通信中
	PHS や無線 LAN カードが認識されていない。 または、利用できる無線 LAN アクセスポイントがない状態です。インジケータをクリックすることはできません。十分に電波を受けない場合も下記の表示になります。	カード等が認識され、利用可能な待機状態。インジケータをクリックすると、接続ができます。(接続までには少し時間がかかります。) お使いの場所で接続が安定しない場合は場所を移動して、接続してみてください。	インジケータをクリックすると、接続を切断します。
PHS			
無線 LAN			

3. 設定

1. PHS 接続設定

a) PHS-接続(ダイヤルアップ接続を行う。)

接続タブでダイヤルアップ接続の設定を行うことができます。

The screenshot shows the 'PHS' settings window with the '接続' (Connection) tab selected. The 'アクセスポイント' (Access Point) field contains '0570570130'. The '通信モード' (Communication Mode) section has 'マルチリンク' (Multi-link) selected. The '有効期限' (Validity Period) field is empty, and the '状態' (Status) is '未接続です' (Not connected). The 'ダイヤル' (Dial) checkbox is unchecked. Callouts provide the following information:

- アクセスポイントが選択できます(複数ある場合)。 (Access points can be selected (if there are multiple).)
- 通信モードの切替ができます。シングルリンク/マルチリンクモード (Communication mode can be switched. Single-link/multi-link mode)
- カードの有効期限を確認することができます。 (You can check the validity period of the card.)
- チェックボックスにチェックを入れるとダイヤルが行えます。 (Checking the checkbox allows dialing.)

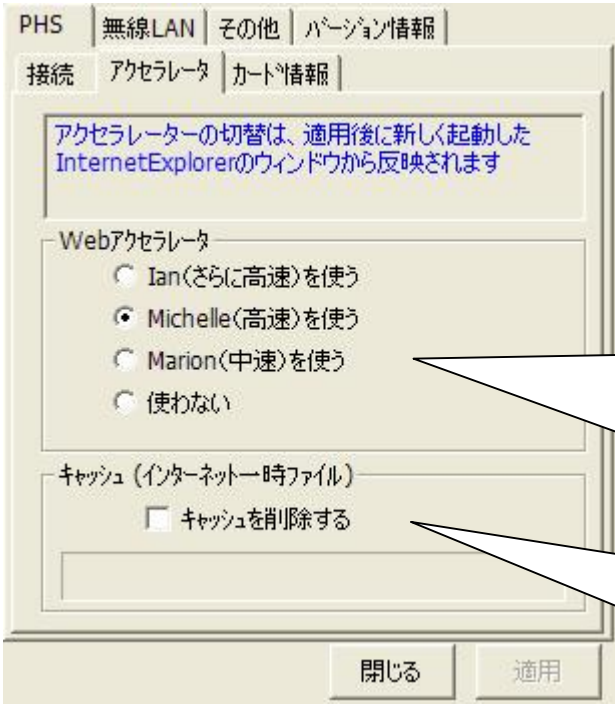
注1) Windows のダイヤルアップ接続アイコンから設定に変更を加えた場合、それらの設定はb
アクセスには反映されません。

注2) 同じモデムを使用するダイヤルアップ接続が複数ある場合は、接続済みのダイヤルアッ
プ接続を切断してからもう一方のダイヤルアップ接続を行ってください。

b) PHS-アクセラレーター (アクセラレーターの設定切替を行う)

Web アクセラレーターの切り替え、キャッシュファイルの削除(インターネット一時ファイルの削除)を行うことができます。

Web アクセラレーターとはブラウザで表示されるデータをモバイル向けに調整することによって高速なブラウジングを実現するためのサービスです。グラフィックファイルなどで画質が気になる場合にはより高画質の Marion をご利用ください。また、テキスト中心のブラウジングであれば、Ian を利用することでより高速なブラウジングが可能です。



アクセラレーターの切替は、適用後に新しく起動した Internet Explorer のウィンドウから反映されます

Webアクセラレータ

- Ian(さらに高速)を使う
- Michelle(高速)を使う
- Marion(中速)を使う
- 使わない

キャッシュ (インターネット一時ファイル)

キャッシュを削除する

閉じる 適用

アクセラレーターの種類を選択します。変更後、「適用」ボタンをクリックして Internet Explorer に設定を反映させます。切り替え後に新しく起動した Internet Explorer ウィンドウから有効となります。またアクセラレーターを切り替えた後には、キャッシュを削除するまで、反映が確認できないことがあります。

キャッシュファイルの削除を行う場合にチェックマークをします。「適用」ボタンをクリックすると実行されます。(インターネット一時ファイルのフォルダの中身をすべて削除します。)

- 注1) b アクセス以外でアクセラレーターの設定を行った場合は実際のアクセラレーターの設定が正しく表示されない場合があります。
- 注2) この機能でアクセラレーターの設定を切り替えると、HTTP 以外で設定していたプロキシサーバーの情報や例外の設定情報は失われますのでご注意ください。

c) PHS-カード情報(通信カード(PHS)の情報および周囲の電波状況の確認)

カード情報タブで通信カード(PHS)の情報を表示することができます。ダイヤルアップ接続中は測定できません。接続を切断すると「測定」ボタンがアクティブに変わり測定ができます。電波状況は測定場所、測定時間によって異なります。接続するそのときの電波状況を示すものではありません。



空きチャネル・・・測定を行った時点での基地局との接続が可能な通信リンクの数を黄色のランプで表示します。最大は4です。下記のように表示される場合には、空きチャネルが3であり、マルチリンクのフルスペックでは利用できないこと示しています。



電波強度・・・カードから見える基地局の数と、それぞれの基地局のカードに到達した電波の強度を緑色のランプで表示します。ゲージの横方向は基地局の数を、縦方向はそれぞれの電波の強さを示します。下記のように表示される場合には、電波を受信することができる基地局が 5 局あり、それぞれレベルは、5 段階表示で、レベル 4 が 1 局、レベル 3 が 1 局、レベル 2 が 1 局、レベル 1 が 2 局となっています。下記のように電波が表示される場合には電波が十分な状況ではないことがわかります。



2. 無線 LAN 接続設定

a) 無線 LAN-アクセスポイント(無線 LAN アクセスポイントの検索)

アクセスポイントタブで現在のアクセスポイントの確認を行うことができます。

アクセスポイントの情報が表示されます。

電波強度の確認が行えます。

アクセスポイントの表示方法を切り替えます。
「登録済み AP のみ」の表示に限定することと、
「非公開 AP 検出」を設定することができます。

アクセスポイントを自動で定期的にスキャン、手動でスキャンのどちらかを選ぶことができます。自動の場合は、接続間隔を短くすると更新は速くなりますが、バッテリーの消耗が激しくなります。

公衆サービスまたはユーザー定義で定義されていない接続先(アクセスポイント)を確認した場合には次のようなレベルが表示されます。青色もしくは赤色の部分が受信している電波レベルであり点灯している数が多いほど電波が強くなります。

鍵マークはアクセスポイントにセキュリティ(WEP等)がかかっていることを示します。

登録されたアクセスポイント

登録されていない(b アクセスで接続できない)アクセスポイント

注1) アクセスポイントがその存在を隠している場合、それらのアクセスポイントをbアクセスで発見できないことがあります。

注2) 無線LANカードによって信号レベルは異なるため、電波強度は参考程度にご利用ください。

b) 公衆無線 LAN-公衆サービス(アクセスポイントの設定)

公衆サービスタブで公衆無線LANに関する接続の可否などを設定します。

PHS 無線LAN その他 バージョン情報

アクセスポイント **公衆サービス** ユーザー定義

サービス名

- FREESPOT
- モバイルポイント
- みあこネット
- 無線LAN倶楽部
- ホットスポット
- BizPortal

上へ

下へ

「b-mobile ONE」の場合には標準サービスとして利用いただけます。

このサービスは利用しない

接続時に確認メッセージを出す

閉じる 適用

情報を表示、変更するサービスを選択します。

選択している公衆無線 LAN の接続優先度を上下に変更できます。

選択している、各サービスの説明を表示します。公衆無線 LAN 接続時にも同様の確認メッセージが表示されます。

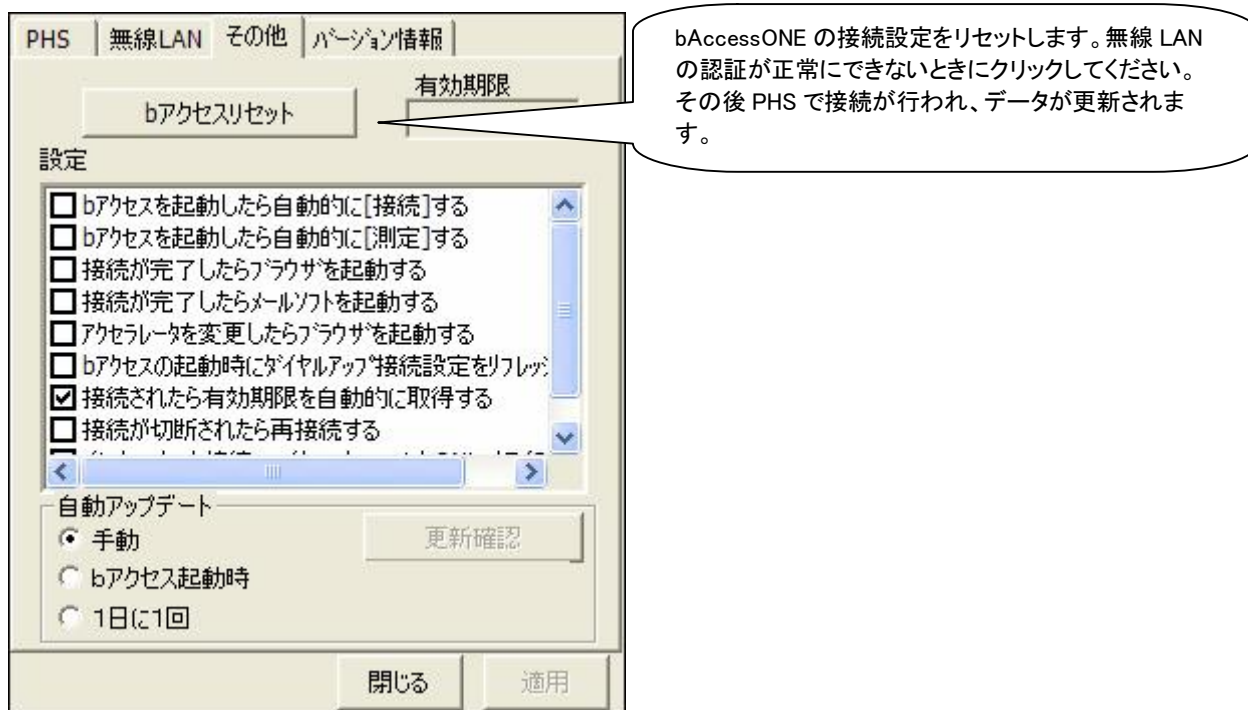
選択しているサービスの利用を停止します。

選択している公衆無線 LAN の接続時に確認メッセージを表示します。通常間違った接続を防止するためチェックを入れることをおすすめします。

- 注1) ご利用いただけるサービスは随時変更いたします。最新の設定をご確認ください。それらの設定はbアクセスの自動更新機能でアップデートさせることが可能です。
- 注2) 一部サービスでは公衆無線 LAN サービス独自の Web 認証に対応していない場合があります。この場合は接続不能な場合があります。

公衆無線 LAN サービスに必要な設定を確認する

公衆無線 LAN サービスをご利用になる場合にはあらかじめ PHS の接続を行い、bAccessONE の認証をしてください。この状態でも正しく公衆無線 LAN に接続が行えない場合には b アクセスに登録された情報をリセットすることができます。初回の自動接続を失敗した場合などに行う必要があります。



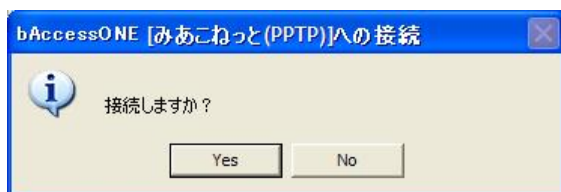
bAccessONE の認証が正しく完了している様に見える場合でも、公衆無線 LAN への接続が失敗する場合があります。認証には PHS の圏内で行う必要があります、完了まで少し時間が必要です。認証が正しく行われていない場合には b アクセスのリセットが必要になります。

公衆無線 LAN 接続方法 1

b アクセスの状態を確認してください。無線 LAN のインジケータがグレイアウトしておらず、薄い緑色（利用可能な状態）になっていることを確認してください。この図は、PHS・無線 LAN ともに利用可能な状態を示しています。



無線 LAN 接続ボタンをクリックすると、b アクセスがローミング接続を始める前に、確認画面が表示されます。この時点で「No」ボタンをクリックしてキャンセルした場合、接続は完了しません。意図しない公衆無線 LAN サービスとの接続が起こる場合には、「公衆無線 LAN」タブの「このサービスは利用しない」をチェックして、不必要な接続を抑制してください。



「はい」ボタンをクリックすると、b アクセスは以下のような手順で無線 LAN の接続を行います。

- 1) 対象のアクセスポイントへ接続します。
- 2) IPアドレスが取得されるまで待機します。
- 3) ユーザー認証を実行します。
- 4) 認証が正常に完了したことを確認します。

※1)～4)の間は「無線LAN」ボタンの表示は薄い緑色と濃い緑色の点滅となります。



無線 LAN に接続、通信中

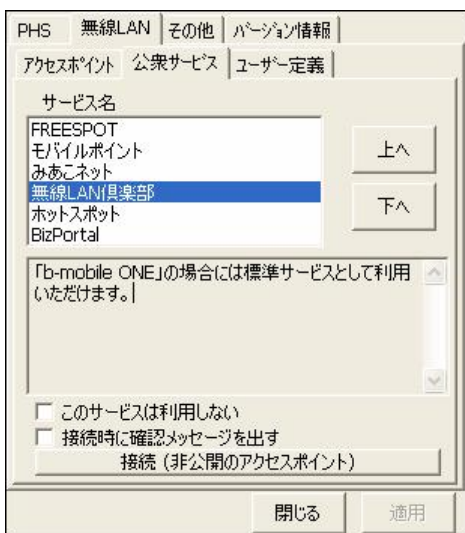
接続が完了すると、無線 LAN のアイコンが濃い緑色になり、接続が完了したことが確認できます。無線 LAN のログオフおよび切断時には、もう一度無線 LAN のボタンをクリックしてください。

公衆無線 LAN 接続方法 2

b アクセスの状態を確認してください。



一部の公衆無線 LAN では、SSID の隠蔽を行うことによって、アクセスポイントを非公開にしている場合があります。この場合 b アクセスで正しく認識できません。利用できるエリア内にもかかわらず、b アクセスが正しく反応しない場合には公衆サービスタブ内の接続ボタンを利用して強制接続を行ってください。



公衆無線 LAN 接続方法 3

一部の公衆無線 LAN では、SSID の隠蔽を行うことによって、アクセスポイントを非公開にしている場合があります。しかし、b アクセスでは設定を変更することによってこれらのアクセスポイントを通常のアクセスポイントと同じように容易に接続できるようになります。設定の中にある「無線 LAN」タブの中の「アクセスポイント」タブに表示されている「非公開 AP 検出」のチェックボックスにチェックを入れることで、非公開アクセスポイントの検出を b アクセスで行えるようになります。



- 注1) この機能はアクセスポイントを自動的にスキャンさせる機能と組み合わせてを利用すると、無線 LAN アダプタの電力消費が大幅に増加します。
- 注2) この機能を利用する場合、b アクセスがアクセスポイントを検索する時間が長くなります。処理中は PC がしばらくの間、操作を受け付けないことがあります。

c) 無線 LAN-ユーザー定義(アクセスポイントの接続設定を行う)

ユーザー定義の無線LANに関する情報を確認します。

ここで設定した項目については、公衆無線 LAN の設定に優先されます。

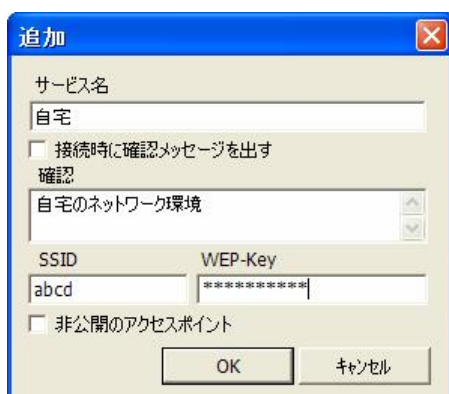
The screenshot shows a configuration page for wireless LAN user-defined settings. The page has a navigation bar with tabs: PHS, 無線LAN (selected), その他, and パーソナル情報. Below the navigation bar are sub-tabs: アクセスポイント, 公衆サービス, and ユーザー定義 (selected). The main content area includes a 'サービス名' (Service Name) field, a '接続時に確認メッセージを出す確認' (Check for confirmation message at connection) checkbox, and fields for 'SSID' and 'WEP Key'. At the bottom, there are buttons for '追加' (Add), '編集' (Edit), '削除' (Delete), '閉じる' (Close), and '適用' (Apply). Callouts provide the following explanations:

- 情報を表示、変更するサービスを選択します。(Select a service to display or change.)
- 選択している無線 LAN の接続時に確認メッセージを表示します。通常間違った接続を防止するためチェックを入れることをお勧めします。(Display a confirmation message at connection for the selected wireless LAN. We recommend checking this to prevent usual connection errors.)
- 接続先の SSID を確認します。(Check the SSID of the connection destination.)
- 新しく接続先を追加します。(Add a new connection destination.)
- 選択している接続先を編集します。(Edit the selected connection destination.)
- 選択している接続先を削除します。(Delete the selected connection destination.)
- 選択している無線 LAN の接続優先度を変更できます。上に表示されているものを優先に接続します。(You can change the connection priority of the selected wireless LAN. Connect to the one displayed at the top with priority.)
- 選択している接続先の接続確認メッセージを表示します。(Display the connection confirmation message for the selected connection destination.)
- 選択している接続先の WEP キーを表示します。(***で表示) (Display the WEP key for the selected connection destination. (Displayed as ***)

ユーザー定義の無線 LAN 追加・変更・削除(アクセスポイントを登録する場合)

ユーザー定義の無線 LAN 接続設定の追加

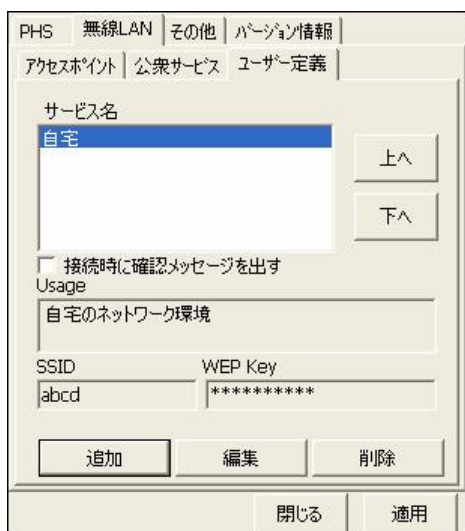
ユーザー定義の無線 LAN 接続設定(前項を参照)で、新しい接続先を追加するため、追加ボタンを押して、ユーザー定義の追加ウィンドウを呼び出します。



ご利用の無線 LAN の接続に必要な情報を登録してください。

「OK」を押した後に、メインウィンドウに戻り、「適用」ボタンを押して反映させます。

SSID の隠蔽を行うことによって、アクセスポイントを非公開にしている場合は接続ボタンを表示するために、非公開のアクセスポイントのチェックボックスにチェックを入れてください。



ユーザー定義が反映され、利用準備が整いました。

ユーザー定義の無線 LAN 接続設定を変更

一度登録を行った内容に変更を行う場合、変更を加える接続先を選択して、「変更」ボタンをクリックします。ユーザー定義の編集ウィンドウが呼び出されます。サービス名以外の項目の編集が行えます。



ご利用の無線 LAN の接続に必要な情報を登録してください。

「OK」を押した後に、メインウィンドウに戻り、「適用」ボタンを押して反映させます。

3. その他

設定を確認・変更する

設定タブでは PHS に関連した b アクセスの設定の確認・変更を行えます。設定の変更は各項目のチェックボックスで行うことができます。(チェックが入っている場合は ON) 変更後「適用」ボタンをクリックするとすぐに変更が反映されます。

The screenshot shows the 'PHS' settings window with the 'その他' (Other) tab selected. The 'b アクセスリセット' (Reset b Access) button is highlighted. The '有効期限' (Validity Period) field is empty. The '設定' (Settings) section contains several checkboxes, with the 7th checkbox checked. The '自動アップデート' (Automatic Update) section has '手動' (Manual) selected. The '更新確認' (Update Confirmation) button is visible. Callouts provide detailed explanations for these elements.

有効期限が表示されます。有効期間を自動的に取得しないに設定した場合、正しく表示されません。

b アクセスの接続設定をリセットします。無線 LAN の認証が正常に行えないときに押してください。この後 PHS で接続を行うことによって、データが更新されます。

各々の設定の初期値はこの画像ようになります。

チェックボックスで詳細設定を変更できます。適用ボタンを押すことで変更が反映されます。

b アクセスソフトウェア本体や設定ファイル、アクセスポイントのアップデートを行う機能です。

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧
- ⑨

各設定項目については次ページにて説明します。

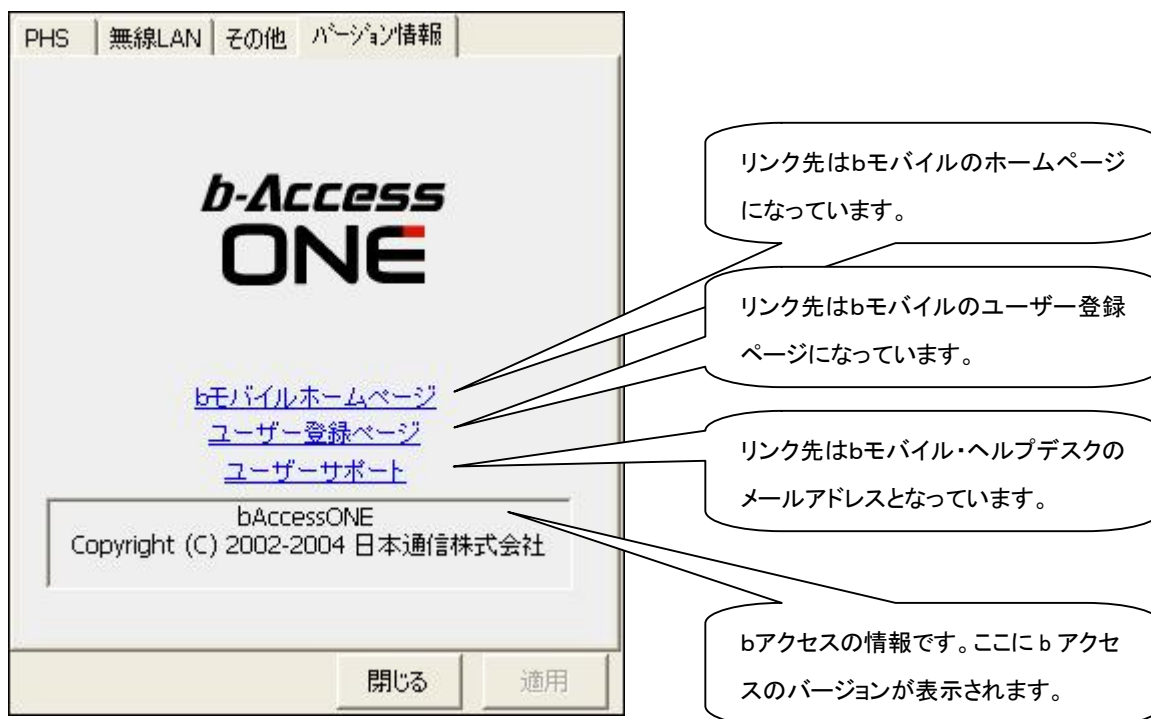
設定内容詳細

- ① 起動してすぐにダイヤルアップを開始します。「起動したら自動的に[測定]する」も設定されている場合には測定後に接続を開始します。(初期設定:OFF)
- ② 起動すると電波強度を測定します。(初期設定:OFF)
- ③ 接続完了後「標準で使用しているブラウザ」を起動します。(初期設定:OFF)
- ④ 接続完了後「標準で使用しているメールソフト」を起動します。(初期設定:OFF)
- ⑤ アクセラレーターの変更後「適用」ボタンをクリックするとブラウザが新たに起動します。(初期設定:OFF)
- ⑥ ダイヤルアップ接続設定をリフレッシュします。(初期設定:OFF)
- ⑦ ダイヤルアップ完了後、有効期限を取得します。(初期設定:ON)
- ⑧ 接続が切断された場合再び接続する。(初期設定:OFF)
- ⑨ Windows 標準のファイアウォールを有効にして接続を保護します(PHS のみ本機能は有効です)。この機能を利用すると、Windows から通信を行わない限り通信は遮断されます。(初期設定:ON)

4. バージョン情報

バージョンを確認する

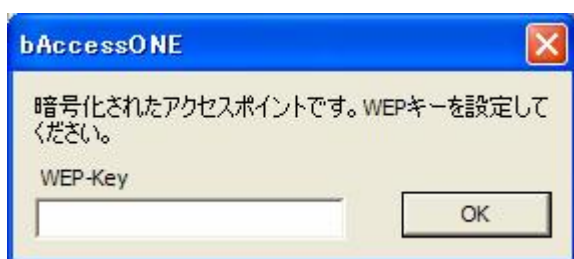
バージョン情報タブでbアクセスの情報を確認することができます。



5. ワンポイント

●WEP キーの入力

[設定]-[無線 LAN]タブの「公衆サービス」または「ユーザー定義」において「WEP キーなし」が標準の設定になっているアクセスポイント(“FREESPOT“や”みあこネット“など)において、実際にご利用になるアクセスポイントに WEP キーが設定されていた場合は、bアクセスは WEP キーの入力を求めます。その場合には、アクセスポイントの運営者から WEP キーを入手して入力してください。



また、入力ミスがあった場合次の警告が表示されます。



●自動アップデート

PHS でインターネット接続を行った状態からbアクセス本体や設定、アクセスポイント情報をアップデートすることができます。

The image shows two screenshots from a software interface. The top screenshot shows the '自動アップデート' (Automatic Update) settings. The '手動' (Manual) option is selected. A '更新確認' (Update Confirmation) button is visible. A callout bubble explains that in 'Manual' mode, updates occur only when the 'Update Confirmation' button is pressed, while other settings update automatically.

The bottom screenshot shows the 'bアクセスの更新' (b Access Update) dialog. It contains a table of items to be updated. The first item, 'bアクセスWiFi(App)', has a checked checkbox and is marked as '更新可能' (Update Possible). The other items are marked as '更新不要' (Update Not Needed). A '更新' (Update) button is at the bottom right. A callout bubble explains that items that can be updated to the latest state will have a checked checkbox, and users should check these items before updating. Another callout bubble points to the '更新' button, stating that pressing it will execute the update.

更新対象	バージョン	更新状態
<input checked="" type="checkbox"/> bアクセスWiFi(App)	3.01.23	更新可能
bアクセスWiFi(Sys)	1	更新不要
bアクセスWiFi(Cfg)	4	更新不要
bアクセスWiFi(Apt)	20030828	更新不要
bアクセスポイント(All)	20030909	更新不要

●他社製無線 LAN ソフトウェアとの相性について

bアクセスでは WindowsXP の標準サービスである Wireless Zero Config の代わりに作動します。一部の無線 LAN アダプタに付属するユーティリティソフトウェアも同様の機能をもつ場合があります。また、一部のアダプタでは、Wireless Zero Config に対応せず、独自のユーティリティソフトウェアとの組み合わせのみで作動するハードウェアもあります(ハードウェアに搭載されている独自機能が、独自ユーティリティソフトウェアでのみ利用可能な場合もあります)。これらの特殊な場合は次の方法で回避できることがあります。なお、削除を行う前に、独自ユーティリティソフトウェアのバックアップを行ってください。

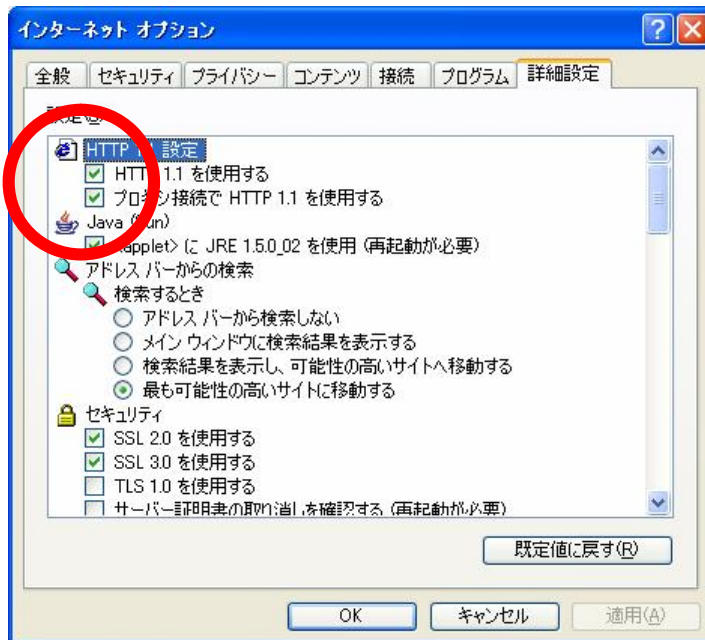
1. 独自ユーティリティソフトウェアを終了する。
2. 独自ユーティリティソフトウェアをアンインストールする。
アンインストール方法については各無線 LAN アダプタに付属のマニュアルをご確認ください。

●無線 LAN ドライバソフトウェアのアップデート

bアクセスで無線 LAN スポットをご利用の場合には、メーカーにて配布されている無線 LAN アダプタ用の最新ドライバソフトウェアが必要になる場合があります。これらのソフトウェアをアップデートすることによって、接続性が改善することがあります。ドライバのアップデートについては、事前にドライバの提供元の情報を必ず確認した上でご利用ください。

● HTTP1.1 への対応方法変更について

Internet Explorer をご利用の場合 b アクセスを起動すると効率的な通信が行えるよう HTTP1.1 という転送規格を使用する機能を有効にします。



なお、この設定は b アクセスの起動時に設定されます。

通常は問題ありませんが、ウェブページで表示が正しくおこなわれない場合にはインターネットオプションの設定を変更することで回避してください。

1. Internet Explorer のメニューから[ツール]－[インターネット オプション]を選択します。
2. [詳細設定]タブを選択し、「HTTP 1.1 設定」項目の「HTTP 1.1 を使用する」および「プロキシ接続で HTTP1.1 を使用する」のチェックを外します。
3. [適用]ボタンをクリックし、[OK]をクリックして設定変更を終了します。

ManualVersion ONE-050603